

# 人間尊重の経営を行います

## 安全衛生方針

全ての事業場で法令を遵守し、労働災害の防止  
および安全衛生水準の向上に努めます

### 安全衛生スローガン

繰り返し型労働災害、公衆災害および交通事故の絶滅  
～安全ルールの厳守～

### 安全衛生目標

#### ① 災害抑制目標

- 死亡・重大災害発生ゼロ
- 休業4日以上の労働災害発生件数5件以下
- 事故災害発生件数130件以下

#### ② 安全目標

- 車両系建設機械および車両による労働災害の防止
- 不安全状態・不安全行動による労働災害の防止
- 公衆災害の防止
- アスファルト混合所での事故・労働災害の防止
- 交通事故の防止

#### ③ 衛生目標

- 社員の健康状態の把握、異常所見者に対する保健指導の徹底
- 協力会社従業員の健康診断の徹底と健康状態の把握
- 職業性疾病（特に熱中症）の防止

## 安全衛生活動

### 安全大会（安全意識の高揚）

毎年6月に全店で安全大会を実施しています。安全大会では、会社の労働安全衛生マネジメントシステムに基づき策定した安全衛生対策要項をすべての工事関係者に周知するとともに事故防止への積極的な取り組みや優良現場に対し表彰を行っています。



### 安全パトロール（安全衛生管理のレベルアップ）

安全パトロールでは、不安全行動や不安全状態を点検することで災害を未然に防ぎ、職場の安全意識を向上させるとともに、現場の安全衛生計画や書類整理の実施状況等を確認、指導します。

また、職場の安全と従業員や作業員の健康を守るため、経営者自らも定期的に現場に足を運び、現場の実態を把握するよう努めています。



外構工事



建築工事



社長による現地指導

### 交通事故防止対策

毎日の欠かせない交通手段である自動車による交通事故を少しでも減らすため、各事業場には安全運転管理者を配置し、安全運転教育を行っています。また、必要に応じ、車両の危険挙動をメールで管理者に配信する、テレマティクスシステムを装着し、安全運転指導に役立てています。

ハード面については、事故率の高い追突事故に対して衝突防止補助システム（モービルアイ）、後退時の後方視界確保のためにバックアイカメラを連絡車に装備して事故防止に努めています。

### 安全ニュースの発行

事故・災害事例やその時々々の安全に関する運動、熱中症対策など労働安全衛生に関する情報の発信、共有化を継続的に行っています（2015年3月末866号発行）。



## 人材育成

創造と挑戦の意欲に満ちあふれた人を育成します

### 教育制度

自己研鑽・OJTを基本とし、成長に合わせた必要知識の習得を目指し、教育を実施しています。



### OJT・自己研鑽

### 新入職員研修

社会人として働くにあたって不可欠な内容を幅広く教育していきます。

4月に開催する新入職員研修では、社会人として必要なマナー教育のほか、技術の専門教育を実施します。また、12月に新入職員研修報告会を開催します。各々の研修内容を発表することで、お互いに刺激を受け、大林道路の職員としての意識を高めます。



### 職場見学

学生の専門知識や就職意識の向上をサポートしています。

工事現場、営業所の見学会を開催し、仕事に対するやりがいや建設業が社会に果たす役割を理解していただきます。

